

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ アイチシュクトクダイガク	フリガナ ビジネスガク	フリガナ オオツカゼミナール
愛知淑徳大学	ビジネス学部	大塚ゼミナール

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ セイハ	フリガナ ナスアヤカ	5
制覇	那須彩花	

研究テーマ（発表タイトル）

ベジタブルイノベーション

1. 研究概要（目的・狙いなど）

時代により時短ニーズが求められているなかで同時に野菜不足も問題として挙げられる。その時短というニーズと野菜摂取量が少ないという問題点の両方を解消することが今回の研究の目的にあたる。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

＜時短と野菜の摂取種類に着目した理由＞

現在働く人は増加傾向にある。女性も働く時代になることで多くのシーンで時短が求められるようになった。それは食事にも表れており実際に時短レシピや時短アイテムなどが多く掲載・販売されている。そこで需要が高まっているのは、カット野菜やコンビニなどで売られている加工済みのサラダである。社会人のアンケートによれば野菜の摂取への意識は高まっている中、野菜の消費量は減少傾向にある。この理由としては、時短により求められるカット野菜や加工野菜は、野菜の種類に偏りがある等、摂取しているようで、実際は摂取量が減少しているのである。

こうした原因があるという現状知ったことによりこの現状を解消することはできないかと商品開発を考えた。

＜スープという粉末化に着目した理由＞

野菜を多く摂取する際にスープにすることで食事と一緒に摂取できるというメリットに加え、粉末化することによりスープという1つの用途だけではなく様々な商品に+aとして使うこともできるようにすることでシーンに合った使い方ができる。その上、その粉末を使うことで調理時間の短縮も可能になるというメリットが生かせることでスープに着目。

＜スープに配合されている野菜＞

ふき、オクラ、キャベツ、ケール、人参、かぼちゃ、ごぼう、サツマイモ、サトイモ、椎茸、ブロッコリー、明日葉、アスパラガス、枝豆(大豆)、コマツナ、セロリ、パセリ、大根、大根葉、玉葱、ほうれん草、レモン、レンコン、モリンガ、マカ、アマランサス、キヌア、クコ、チアシード、バオバブ、麻の実、大麦若葉、チンゲン菜、苦瓜、桑の実、モロヘイヤ、よもぎ、白菜、トマト、野沢菜、レタス、大葉、アヤマラサキ ほうれん草、レモン、レンコン、モリンガ、トウモロコシ

3. 研究テーマの課題

働いている人が感じるストレスに効く栄養素を含んでいるため働いている人に向けて直接的なアプローチが必要ではあるがどういった形でアプローチをするかが課題。大学生ということでブランド力や宣伝力に力がないため手に取ってもらうまでにどのようなプロセスや

差別化を消費者に伝えることができるかが課題

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

<課題解決①評価軸の提案>

現在既存のスープは数多く存在するなかで違いを出すには、一般的に選ぶ基準となる、おいしさや価格とは違う評価軸（今回は野菜の多さなど）を追加することで既存商品との違いを出すことにした。これを丁寧に提案するためにその販売場所や広告媒体の工夫をした。

<課題解決②価値共創の提案>

商品をモノだけではなくサービスとともに提案することで使用価値を高めることができないかと差別化を図った。サービスの内容としてはレシピを提案することでオフィスでの使用方法だけではなく、その先の広い使用方法の提案を可能にした

→①と②で差別化が図れると考え、アポイントをとり実際に愛知県内にある2つの企業に販売を行った。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

商品開発として佐藤食品工業株式会社と連携を行い、スープを作成した。そのスープは野菜を40種類以上使用しており、その野菜も働いている人が感じるストレスを緩和する栄養素が多く含まれている野菜を多く配合している。また、その商品を実際に企業で試飲してもらい、アンケート調査を行った。そのアンケートから商品改良や実際に販売する際の値段設定を行い、最終的には実際に愛知県内にある2社の企業での販売も行った。

6. 結果や今後の取り組み

実際に販売を行った際の結果としては生産分全て完売し、継続したいという声も多く聞くことができた。課題としてはスープを販売した際に設定した値段を60円にしていたがオフィスで販売するにあたり小銭の数が半端であったり、販路が一方向的なアプローチになってしまったりしたことが今課題として挙げられた。その課題を通して今後の取り組みとしては値段を50円というワンコインで払える値段設定にする分、内容を調整し生産コストには影響がないような商品改良を行う。販路も現在自分たちが実際に公開しているベジパワー公式HPを通して商品を企業から選んで注文を受けられるように設定を行うことで販売による課題を解決。また、予選で指摘していただいたスープの色を変更した後の満足度で満足ではないという声が増えたことに関しては野菜感が減ってしまったことが原因と考えた。そこで野菜感をパッケージのデザインにすることで、そういった野菜感を求める消費者にアプローチを可能にするという解決案を提案した。

<商品詳細>

オニオン・ポタージュ・ミネストローネ・鶏ガラ各60円

7. 参考文献

愛知県内企業2社からアンケート

国立社会保障・人口問題研究所 2015年国勢調査 アクセス日付<2018年9月15日>

<http://www.ipss.go.jp/index.asp>

ナビゲート ビジネス基本用語集アクセス日付<2018年9月15日> <https://www.navigate-inc.co.jp/term/>

総務省「労働力調査2018」アクセス日付<2018年11月11日> <https://www.stat.go.jp/index.html>

クックパッド <https://cookpad.com> アクセス日付<2018年11月11日>

T-fal <https://www.t-fal.co.jp> アクセス日付<2018年11月11日>

出典：「カット野菜で17年連続増収の不思議」読売オンライン 2016年7月13日

アクセス日付<2018年11月11日> <https://www.yomiuri.co.jp/fukayomi/ichiran/20160712-OYT8T50035.html>

出典：「野菜の消費をめぐる状況について農林水産省」アクセス日付<2018年11月11日>

http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/y_h29_mitosi/pdf/yasai_shohi_jyokyo.pdf

アサジョ 一日に必要な野菜は量ではなく種類が大切であるこれだけの理由

2015年10月30日 アクセス日付<2018年11月11日> <https://asajo.jp/excerpt/3405>

スープに関するアンケート 愛知県内企業2社 母数：57 2018年10月8日

日本経済新聞 即席スープ増産 食べ答え十分、職場の時短需要つかむ 2018年5月8日アクセス日付<2018年11月11日> <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO30208720Y8A500C1TJ2000/>

スープについてのアンケート 母数：100 2018年8月15日

スープに関するアンケート 母数：70 2018年7月9日～7月23日、2018年8月20日～9月7日

スープの価格に関するアンケート調査 母数：78 2018年10月8日

クックパッド <https://cookpad.com> アクセス日付<2018年10月30日>

「働く人の疲労について」2017年11月29日アクセス日付<2018年11月11日>

<https://recipe-book.ubiregi.com/articles/hiroukaifuku-tabemono/>

「日本の時短ブームについて」2017年10月23日

アクセス日付<2018年11月11日> <https://trendy.nikkeibp.co.jp/atcl/column/17/092200028/>

「職場での食事のニーズ」2018年5月8日

アクセス日付<2018年11月11日> <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO30208720Y8A500C1TJ2000/>

はじめてのマーケティング 著者：久保田進彦・澁谷覚・須永努 有斐閣出版 2013.12.14 出版

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

無し

●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

商品化し、実際に販売を行ったスープ（ベジパワー）

【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。